

外務大臣表彰を受賞

保険業界関係者では異例の選出

JEIB 佐野圭作会長

ジャパン・イングリッド・インシュアランス・ブローカー社(JEIB)の佐野圭作会長はこのほど、「平成25年度外務大臣表彰」を受賞した。保険業界関係者で同表彰を受けるのは極めて異例。自身が1996年に設立した英国日本人会の会長として、長年にわたって現地日本社会に貢献してきたことが認められた。

つた。

今年度は個人97人、31団体が表彰を受けており、うち国内在住受賞者は個人18人、6団体。佐野会長を含む海外在住受賞者は79人、25団体が選ばれた。国内受賞者については、7月31日に東京都港区の飯倉公館で表彰式とレセプションが行われ、岸田文雄外務大臣から表彰状と副賞(個人のみ)が贈られた。佐野会長は近日中に在英日本大使館で表彰を受ける予定。

企業に対するリスクマネジメント業務を中心に実績を伸ばし、2005年には英国金融庁の認可を取得するなど英国マーケットで確固たる地位を築いている。現在はロイズブローカーとしての登録申請を進めている。また、昨年11月には日本でもブローカー子会社JEIBジャパン(株)(東京都港区、宮本信宏社長)を立ち上げ、順調に契約規模を拡大している。

英国日本人会は、英国に定住する日本人相互の親睦(しんぼく)を図り、ボランティア精神に基づいた互助と福祉活動を促進することを目的に、1996年11月に発足。主なイベントや活動は、①福祉活動(慰問、援助活動)②チャリティ活動(英国日本人墓地管理、フットセール、東日本大震災援助)③各種勉強会、セミナーの開催(二水会、紅葉会、坐禅会)④文化交流(ジャパン祭りの主催、ジャパニーズガーデンパーティ)⑤健康増進(英国を歩く会、カラオケ歌う会、坐禅会)など多岐にわたっており、これらの取り組みを通じて英国日本人社会の発展に寄与すると同時に、日英国際理解の橋渡しの役目を果たしている。発足当初は40人前後だった会員数は現在、約300人まで拡大している。

外務大臣表彰は、国際関係のさまざまな分野で活躍し、日本と諸外国との友好親善関係の増進に多大な貢献をしている日本人や外国人のうち、特に顕著な功績のあった個人および団体をたたえ、その活動に対する一層の

理解と支持を国民に広めることを目的としている。外務大臣規定では、①諸外国との相互理解および友好親善の促進②経済、技術協力などの国際協力③対外経済の発展④国際機関の活動⑤広報・文化事業の振興⑥領事・移住事務の遂行⑦その他対外関係を通じ国益

の増進に貢献を表彰対象としている。佐野会長は、英国日本人会の会長として長年現地日本社会に貢献するとともに、同会の活動を飛躍的に拡大させ、日英交流の増進に努めた。また、2009年から「ジャパン祭り」を各種日系人団体と共催する中で主要な役割を果たすなど、さまざまな取り組みが評価され、今回の受賞と

な。今年度は個人97人、31団体が表彰を受けており、うち国内在住受賞者は個人18人、6団体。佐野会長を含む海外在住受賞者は79人、25団体が選ばれた。国内受賞者については、7月31日に東京都港区の飯倉公館で表彰式とレセプションが行われ、岸田文雄外務大臣から表彰状と副賞(個人のみ)が贈られた。佐野会長は近日中に在英日本大使館で表彰を受ける予定。



佐野会長

英国日本人会会長として現地邦人社会に貢献

今回の表彰を受けて佐野会長は、「英国で17年前に始めた当会が日本国に正式に認知されたことがとてもうれしく、共に活動してきた理事たちも皆喜んでいて。今後とも員へのサービスをさらに拡充したり、日本会館を建設するなどの計画も立てており、現地日本人社会のますますの発展と日英交流の広がりに尽力したい」としている。